



トリオ・アンファリア ロマンの煌き



© 2019 Hideyuki Tomaru

Trio Anfalia Concert 2022

Program 演奏曲目

Frank Bridge Miniatures For Piano Trio
フランク・ブリッジ ピアノ三重奏のための小品

Johann Nepomuk Hummel Piano Trio in F major, Op.22
ヨハン・ネポムク・フンメル ピアノ三重奏曲第3番 ハ長調 Op.22

Felix Mendelssohn Piano Trio No. 2 in C minor, Op.66
フェーリクス・メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲第2番 ハ短調 Op.66

2022. 6. 4

高崎芸術劇場 音楽ホール (土)

一般 3000円 学生 1500円 13:30開場 14:00開演

お問い合わせ・プレイガイド
群馬交響楽団 ☎027-322-4316

Trio Anfalia

トリオ・アンファリア

トリオ・アンファリアは2010年の秋に生まれました。私たちはとても仲良しで、一緒に演奏することが何よりも嬉しい楽しい。Anfaliaの名前は三人の名前から取りました。Shanから[An]、Fannyから[fa]、Yuliaから[lia]、そして三人の生まれた国の国旗から、ロゴの色を付けました。

トリオは今までに福井市、中之条市、小諸市のサロンコンサートで演奏しました。2012年3月21日に高崎市デビューしました。私たちは今後も活動を続けていきます。皆さんよろしくお願ひします！

オリジナルプログラム:

「歌の薫に」アリアからミュージカルまで
「ロシア音楽で紡ぐ七夕物語」

「女性作曲家たちが描く美しいメロディー」
たまごコンサート

2016 「蝶々さん群馬にはばたく」

「3M音楽祭」(前橋市、松本市、水戸市)

2018 「メゾソプラノと彩る夏の宵」

(松原広美メゾソプラノ)

2019 「舞踏会への招待」

富岡製糸場「特別演奏会」

2021 「10周年記念 三世界の出逢い」



© 2019 Hideyuki Tomaru

高 杉

(ヴァイオリン)

中国雲南省出身。ヴァイオリン奏者の父の指導でヴァイオリンを7歳から弾き始める。昆明市立交響楽団ヴァイオリン奏者を経て、上海音楽学院ヴァイオリン専攻を首席で卒業。雲南芸術学院で教鞭をとる。その後、中国国立交響楽団に入団。ヴァイオリン奏者としてユーディ・メニューイン、シャルル・デュトワ、ゲンナジー・ロジェストヴェン斯基などと共演。東京芸術大学大学院修士課程を修了し、2004年に群馬交響楽団に入団。ヴァイオリン奏者として活躍、現在に至る。また、室内楽奏者としても、多方面において積極的に活動を展開している。これまで、リナ・ユ、エディワ・グラチ、ユーディ・メニューイン、岡山潔の各氏に師事。2010年11月から、トリオ・アンファリアのヴァイオリニストを務めている。



Trio Anfalia
公式Facebook

チケット取り扱い—Tickets

高崎芸術劇場/群馬音楽センター/
高崎市文化会館/高崎シティギャラリー/
箕郷文化会館/新町文化ホール/
榛名文化会館/吉井文化会館/
倉渢支所地域振興課/群馬支所地域振興課

フアン・ペザルグ (チェロ)

フランス人。マルセイユ音楽院でG.Teuilleresに師事。チェロ、室内楽、ソルフェージュで金賞受賞。同音楽院卒業後、英国はロンドンのギルドホール音楽院でR. Sommerに師事し、優秀な成績で卒業。また、英国The String Experience Schemeのチェロセクションにて選抜され、ロンドン交響楽団(LSO)でSir Colin Davis およびAndre Previn各氏の指揮のちと演奏。その後、米国のインディアナ大学大学院で堤剛に師事。同大学院音楽研究科修了。1998年に群馬交響楽団チェロ奏者就任。ソロリサイタルや室内楽においても活躍中。これまでに、W. Boettcher, C. Henkel, G. Hoffman, A. Noras, J. Starker の各氏に師事。2010年11月から、トリオ・アンファリアのチェリストを務めている。

ユリヤ・レヴ (ピアノ)

サンクト・ペテルブルグ音楽院卒業。1991年、ブラジル・リオデジャネイロ国際伴奏ピアニストコンクール第2位入賞。1996年、ショスタコーヴィッチ作曲オペラ『ムツエンスク郡のマクベス夫人』リハーサルで、マエストロ・ロストロボーヴィチのアシストを担う。2001年に来日。2005年、チャイコフスキイ作曲オペラ『イオランタ』東京・前橋両公演にて、ボリショイ歌劇場ソリストたちと共に演。2007年5月、高崎市民文化会館における「ロシアフェスタ」に出演すると共に、企画・構成にも携わる。2007年11月、武蔵野文化事業団主催「ロシア民謡とオペラ・アリアコンサート」において、エレーナ・オブ拉斯ツツォワと共に演。高崎第九合唱団・合唱団JOYピアニスト。2010年11月から、トリオ・アンファリアのピアニストを務めている。2014年9月～現在、自身のプロデュースで「日本とロシアの音楽の歴史的交流」というコンセプトで高崎市内のホールにて「音楽の架け橋」というイベントを開催している。2021年2月、NHK WorldとNHK BS1の番組「Where We Call Home」に、メインキャストとして出演。

7月に、書籍『ロシアのプロ伴奏者が明かす「伴奏ピアノ術」の極意』(アーバンブロ出版センター)が出版された。

アクセス—Access

高崎芸術劇場
[〒370-0841 高崎市栄町9-1]
JR高崎駅東口から徒歩5分
※専用駐車場はございません

